

高き志【にころざし】

生まれてくれて、ありがとう

最近まで、各学級では「いのちの学習」に取り組んでいました。以前は性教育という呼ばれ方をしていたのですが、最近では「いのち」に関わる学習ですから、名称も様々に変わってきています。以前勤務した学校で、同じように子供たちが「いのちに関する学習」に取り組んでいるとき、校長室の本棚に少し気になる本を見つけました。それは、「生まれてくれて、ありがとう」というエッセイ集です。歴代の校長先生の中のどなたかが、校長室に残していかれたものだと思われました。「子どもたちも、いのちに関する学習をしているから…」と思い、少しページを開いてみました。たくさんエッセイが掲載されていましたが、その中の一つに心が引きつけられました。

大きな声

「オギャー」

お産のあまりの痛みで、意識がもうろうとする。生まれたての我が子を見たいと思っても、おそらく気を失いかけているのだろう。白くかすんでしまい見えない。

私は耳に障がいがあり、聞こえが良くない。

それでも、無事な誕生を知らせる元気な声が、私の耳にははっきりと聞こえる。

ありがとう。健康に生まれてきてくれたんだね。

好きな人の子どもが自分から健康に生まれたんだ。何という幸せだろう。

私はホッとして気を失った。

入院中、同室の人から「元気な声で泣く赤ちゃんですね」と声をかけられた。…そう。

この子は神様が私にくれた宝物だもの。聞こえが良くない私のために、大きな声で泣く力をもって生まれてきたに違いない。

宝物ちゃん。お母さんを選んで生まれてきてくれたのかな。どうもありがとう。大切に育てるから、どうか安心して大きくなってね。

今でも毎日、私が離れた部屋にいても気づくほど、大きな声で泣いています。

年齢のせいかわ、最近涙腺がゆるゆるの私は、読みながら目頭が熱くなったのを憶えています。その時も、このエッセイを引用して学校便りを書きました。とても素晴らしいエッセイですので、今回も引用させていただくことにしました。

今回、本校の学習の中では、2・3年生がお家の方々からの手紙を受けて学習を進め、最後にお家の方へ手紙を書きました。下は、子供たちが書いた手紙からの抜粋です。

○小さいときから大じにそだててくれてありがとう。お父さんは、いつもおしごととかいそがしいと思うけど、3人におもちゃとか買ってくれてありがとう。お母さんは、3人も子どもがいるのにまいにちおせわががんばってるね。たいへんだと思うけど、これからはがんばってね。○○（弟）がうまれてわたしがおねえちゃんになってうれしかったよ。○○家にうまれて、本当にうれしいよ。（2年生）

○いつもは意地を張ってママやパパに「大好き」って言えないけど、本当はママとパパの子に生まれてよかったと思ってるよ。大好き。ありがとう。（3年生）

少ししか紹介できませんが、どれも素敵なお手紙ばかりでした。

「生まれてくれて、ありがとう」

「生んでくれて、育ててくれて、ありがとう」

今回の学習が、命の大切さを学ぶとともに、親子の絆を深めるきっかけになれたのなら、とてもうれしいことです。